

北海道

食の探知記

〈24〉

「障害のある人も活躍でき、支え合えるユニバーサル社会を築きたい」と語るのは、「ナミねえ」のニックネームで親しまれる社会福祉法人プロップ・ステーション竹中ナミ理事長。8月には日清製粉との共催で「神戸スイーツ・コンソーシウム チャレンジド・プログラム」を札幌で初めて開催した。一流のシェフと食材を使ってスイーツ作りの技術やノウハウ、魅力を伝え、チャレンジド(障害のある人)の潜在力を引き出す狙いで開催しているもので、

チャレンジド活躍へ 菓子作りで能力発揮



竹中ナミ理事長

まな能力を発揮してもらおうと、このプログラムを始めた。お菓子はどんな人でも笑顔にしてくれる。チャレンジドが元氣と誇りを持って働き活躍できるよう一層活動を推進していきたい」と語る。

同氏の前向きで明るい性格と行動力、情熱が人のネットワークを広げ、今日の取組みへと発展させた大きな原動力となっている。「国も巻き込みながら、スイーツコンソーシウムとして菓子作りをする作業所や福祉施設への顕彰や、さまざまなきがでできるような取組みにしていきたい」と、ナミねえの夢は膨らんでいる。

今年11年目。自身も重度障害のある人の潜在力を

プロップ・ステーション

ドと呼んでください

(長島秀雄)